

鑄物師集団の頭領家に遺された資料群

かずさいもじおおのけかんけいしりょう  
上総鑄物師大野家関係資料



きんせい まつぎけもんじょ うすずみりんじ  
近世真継家文書 (薄墨繪旨)

市内<sup>やな</sup>矢那周辺には古代から中世にかけての製鉄遺跡が点在しており、この中には<sup>ちゅうぞう</sup>鑄造技術を持つ集団も存在していました。これらの大野家関係資料は、鑄物師集団の長であった、矢那の大野家に代々伝わった<sup>おさ</sup>古文書群と鑑札です。古文書からは、<sup>むろまち</sup>室町時代の<sup>えいきょう</sup>永享7年(1435)に<sup>いずみごんのかみ</sup>「和泉権守藤原光吉」という大野家の祖とみられる当主の名が確認できるほか、<sup>あしかが</sup>関東足利氏から「関東中<sup>いものとうりょう</sup>鑄物棟梁」、<sup>ぼうそうさとみ</sup>房総里見氏からは「房州鑄物大工<sup>いものだい</sup>職」として保護されたことなど、中世から近世にかけて活躍した鑄物師集団とその棟梁の実態を伝える資料です。



かん ざつ  
鑑 札

\*\*\*\*\*

市指定文化財：有形文化財（歴史資料）

指定年月日：平成14年1月4日

所在地：木更津市太田2-16-2（木更津市郷土博物館金のすず）

所有者：個人

員数：一括

公開・非公開の別：非公開

\*\*\*\*\*